

その他の便利な機能

● アラーム機能を使う（アラーム）

機能番号54

設定した日付の時刻にアラーム音を鳴らしたり、目覚し時計などとして使うことができます。メッセージや画像を表示させることもできます。アラームは20件まで登録できます。

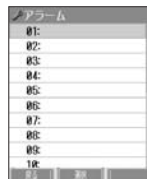
お買い上げ時：
未登録

アラーム設定を登録／編集する

待受画面で

アラーム一覧画面

1 ● ▶ 5.3 ▶ 4.2 ▶ 登録／編集したいアラーム番号を選択し、● 【選択】



以下の項目から選択し、必要な項目を登録／編集します。

<p>1.3 アラームON/OFF</p> <p>お買い上げ時： 「ON」</p>	<p>▶ 1.3 「ON」または▶ 1.4 「OFF」</p> <p>▶ 1.5 「アラーム時刻」で設定した時刻に、アラームを鳴らすかどうかを設定します。</p>
<p>1.4 アラーム時刻</p>	<p>▶ 時刻（24時制）を入力し、● 【確定】</p> <p>指定した時刻にアラームを鳴らします。</p>
<p>1.5 アラーム日付</p>	<p>1.5.1 日付指定（年月日）</p> <p>▶ 年月日を入力し、● 【確定】 ▶ 1.5.2 【確定】</p> <p>指定の年月日の、▶ 1.5.3 「アラーム時刻」で設定した時刻にアラームを鳴らします。年月日は西暦（4桁）、月（2桁）、日（2桁）を入力します。</p> <p>▶ 1.5.4 毎日</p> <p>毎日、「アラーム時刻」で設定した時刻にアラームを鳴らします。</p> <p>▶ 1.5.5 平日（月～金）</p> <p>平日（月～金）の、▶ 1.5.3 「アラーム時刻」で設定した時刻にアラームを鳴らします。</p> <p>▶ 1.5.6 週末（土、日）</p> <p>週末（土日）の、▶ 1.5.3 「アラーム時刻」で設定した時刻にアラームを鳴らします。</p> <p>▶ 1.5.7 曜日指定</p> <p>▶ 1.5.8 1～▶ 1.5.9 （曜日を選択） ▶ 1.5.10 「ON」または▶ 1.5.11 「OFF」 ▶ 1.5.12 【確定】</p> <p>指定した曜日の、▶ 1.5.3 「アラーム時刻」で設定した時刻にアラームを鳴らします。</p>
<p>1.6 アラーム音</p> <p>お買い上げ時： 「固定パターン」/ 「アラーム音」</p>	<p>1.6.1 固定パターン</p> <p>▶ パターンを選択し、● 【選択】</p> <p>アラーム音を、あらかじめ用意されている12種類のパターンから選択します。</p> <p>▶ 1.6.2 メロディ</p> <p>▶ メロディを選択し、● 【選択】</p> <p>アラーム音を、あらかじめ用意されている8種類のメロディから選択します。</p> <p>▶ 1.6.3 データフォルダ</p> <p>▶ アラーム音を選択し、● 【選択】</p> <p>アラーム音を、データフォルダから選択します。</p>
<p>1.7 連続アラーム</p> <p>お買い上げ時： 「OFF」</p>	<p>▶ 1.7.1 「ON」または▶ 1.7.2 「OFF」</p> <p>5分ごとに5回アラームを鳴らします。</p>
<p>1.8 アラーム鳴動時間</p> <p>お買い上げ時： 「1分」</p>	<p>▶ 1.8.1 ～▶ 1.8.2 （時間を選択）</p> <p>アラームを鳴らす長さを選択します。「1分」～「5分」まで、分単位で設定します。</p>
<p>1.9 アラームメッセージ</p> <p>お買い上げ時： 「設定なし」</p>	<p>▶ メッセージを入力し、● 【登録】</p> <p>アラーム動作時、メインディスプレイに表示するメッセージを入力します（全角、半角共に32文字まで）。</p>

<input type="checkbox"/> アラーム画像* お買い上げ時： 「表示なし」	アラーム動作時に表示する画像を選択します。	
<input type="checkbox"/> 固定画像	▶ <input type="checkbox"/> ～ <input type="checkbox"/> (固定画像を選択)	アラーム画像を、あらかじめ用意されている5種類の画像から選択します。
<input type="checkbox"/> データフォルダ	▶ 「画像フォルダ」または「フォトフォルダ」を選択 ▶ 画像を選択し、 <input checked="" type="radio"/> 【選択】	アラーム画像をデータフォルダから選択します。
<input type="checkbox"/> 表示なし	アラーム起動中に画像を表示しません。	

*：撮影モードを「VGA」「SXGA」で撮影した写真（画像）、または「240×320」より大きなサイズの画像は登録できません。

2 【登録】を押す



- アラーム音やアラーム画像を選択した後、【再生】を押すと、選択した音や画像を再生することができます。
アラーム画像再生中は、以下の操作を行うことができます。
 - ・【戻る】：再生を終了します。
 - ・【全画面表示】：データフォルダの画像を全画面表示します。
- アラーム音再生中は、以下の操作を行うことができます。
 - ・【停止】：再生を終了します。
 - ・【戻る】：再生を終了します。
- アラームを設定すると、待受画面に「」が表示されます。また、アラーム一覧画面では「アラームON/OFF」が「ON」に設定されているアラームに「」が表示されます。
- アラーム機能の登録／編集は、以下の手順でも行えます。
待受画面で▶「**アクセスリ**」を選択し、【選択】▶「アラーム」▶登録／編集したいアラーム番号を選択し、【選択】
- 以下の動作を行っている場合は、アラーム指定時刻になってもアラームは鳴りません。この場合、各動作終了後に鳴ります（機能リセット／メモリリセット／完全消去＋初期化、本機起動中／終了中を除く）。
 - ・本機起動中／終了中
 - ・アラーム／スケジュールアラーム／TODOアラーム鳴動中
 - ・通話中／発信中／着信中／データ通信中
 - ・伝言メモ応答録音音中／再生中
 - ・リセット中（機能／メモリ／完全消去＋初期化）
 - ・リモートロック中
 - ・メール送信中／受信中
 - ・カメラのセルフタイマー起動中
 - ・位置情報通知中
 - ・本機の電源OFF時
 - ・京セラPHSユーザーティリソフウェア起動中
- アラーム音量やバイブレータの設定は、「アラームの音量／バイブレータを設定する」（104ページ）をご参照ください。

アラーム設定を削除する

アラーム一覧画面で **削除したいアラーム設定を選択** ▶ 【メニュー】▶【削除】

以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> 1件	選択したアラーム設定を削除します（「各機能の情報を削除する」142ページ）。
<input type="checkbox"/> 全件	登録されているアラーム設定をすべて削除します（「各機能の情報を削除する」142ページ）。

アラームを止める

アラームが鳴っているときに **いずれかのキーを押す**



- アラーム動作中に着信／メール受信があると、アラーム動作を停止します。
- 連続アラームの場合は、連続アラームの解除方法が表示されます。【解除】を長く押し続けると、連続アラームは解除されます。



- 連続アラームが設定されている場合は、1回目のアラーム動作を停止した後、待受画面の「」が点滅します。
- 連続アラームを解除するには、以下の手順でも行えます。
待受画面で▶

● メモ帳を登録する

本機をメモ帳代わりに使用することができます。メモ帳は20件まで登録できます。

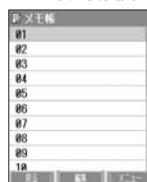
メモ帳を登録する

- 待受画面で ● ▶ 「メモ」を選択し、● 【選択】 ▶ 「メモ帳」 ▶ 登録するメモ帳を選択し、● 【編集】 ▶ メモを入力し、● 【登録】



- 入力できる文字数は1件あたり全角、半角共に512文字までです。
- メモ帳入力画面のメニューについては、「文字入力メニューを使う」(36ページ)をご参照ください。
- メモ入力中に着信などによって登録が中断された場合は、作成していたメモの内容は、一時的に保存されます。再度メモ作成を開始すると、「作成中のメモ帳データを使用しますか?」と表示されます。 「はい」を押すと、作成を再開できます。
- メモ入力中にを押すと、作成中データの破棄の確認画面が表示されます。 「はい」を押すと、作成中データは保存されずに待受画面に戻ります。
- メモ帳はテキストデータとしてエクスポートできません。

メモ帳一覧画面



メモ帳のメニューを使う

- メモ帳一覧画面で 【メニュー】を押す

以下の項目から選択します。

編集	▶ メモを編集し、● 【登録】
コピー	▶ コピー先を選択し、● 【OK】 メモの内容をコピーし、別のメモ帳No.に登録します。
マイオリジナルへ登録	「メモ帳」をマイオリジナルに登録します（「マイオリジナルを使う」27ページ）。
削除	▶ 「1件」、 「選択」、または 「全件」 メモ帳を削除します（「各機能の情報を削除する」142ページ）。



- コピー先に、すでに登録されているメモ帳の場合は、「メモ帳△△は登録済みです」と表示されます。すでにあるメモを置き換えて登録するには、「メモ帳△△を書き換えますか?」の画面で 「はい」を押します。

詳細を表示する

- メモ帳一覧画面で 表示させたいメモ帳を選択し、● 【表示】



- メモ詳細画面で 【メニュー】を押したときに表示される 「編集」、 「コピー」、 「マイオリジナルへ登録」、および 「削除」は、メモ詳細画面から、「メモ帳のメニューを使う」(130ページ)と同様の操作を行います。

メモ詳細画面



● ダイヤルメモを使う（ダイヤルメモ）

電話番号などを書き留めておきたい場合に、本機をメモ帳代わりに使うことができます。

ダイヤルメモを登録する

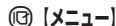
待受画面 / ダイヤル編集画面 / 通話中に **番号を入力し、 [ダイヤルメモ]**


















- 入力できる電話番号は32桁までです。
- ダイヤルメモは3件まで登録できます。すでに3件登録されている場合、古いダイヤルメモから自動的に削除されます。

ダイヤルメモを呼び出して使う

待受画面で ** ▶ 「メモ」を選択し、 【選択】 ▶  [ダイヤルメモ] ▶  で利用したいダイヤルメモを選択 ▶**



以下の項目から選択します。

 発信	▶  【発信】を押す 選択したダイヤルメモの電話番号に電話をかけます。また、電話番号を編集して電話をかけることもできます。	
 アドレス帳へ登録	 新規	選択したダイヤルメモの電話番号をアドレス帳に登録します（「アドレス帳に登録する」40ページ）。
	 追加	▶（検索するアドレス帳の「名前」を入力し、  【検索】 ▶）・アドレス帳を選択し、  【選択】 ▶ 登録先を「電話番号1～3」から選択し、  【選択】 ▶  【登録】 または  【登録】 ▶  「はい」 *：アドレス帳の検索方法は「呼び出し時検索設定」の設定（46ページ）で異なり、ここでは検索画面で「名前」を入力してアドレス帳を表示する方法（お買い上げ時の設定）で説明しています。 すでに登録されているアドレス帳データに、電話番号を追加登録します。
 ライトメール作成	選択したダイヤルメモの電話番号を宛先としたライトメールを作成します（「ライトメールを作成して送信する」54ページ）。	
 削除	▶  「1件」または  「全件」 ダイヤルメモを削除します（「各機能の情報を削除する」142ページ）。	



- ダイヤルメモは、以下の入力操作時に呼び出して利用することができます。
 - ・ライトメール作成の宛先入力（「ライトメールを作成して送信する」54ページ）
 - ・着信拒否する電話番号の入力（「着信拒否する電話番号を設定する」120ページ）
 - ・発信を許可する電話番号の入力（「登録した電話番号以外に電話をかけられなくする」123ページ）

● 待受中に音声を録音する (Myボイスメモ登録)

待受中にマイクから音声を録音します。最大約30秒間録音できます。

待受画面で シャッター/メモキー (サイドキー) ▶ ④ 「Myボイスメモ録音」 ▶ ① 【開始】 ▶

録音開始 ▶ 約30秒経過または ② 【停止】 で録音終了

🔔 ご注意

- データフォルダの空き容量が足りない場合は、エラーメッセージが表示されます。不要なデータを削除して空き容量を確保してください。

🔔 お知らせ

- 録音終了後、③ 【再生】 を押すと、録音した音声データを再生することができます。
④ 【停止】 を押すと再生を終了します。データフォルダから再生することもできます。
- 録音したMyボイスメモのデータ名は、以下の形式で保存されます。
例：2007年8月10日12時34分56秒に録音して保存した場合
「20070810_123456.kmv」
- Myボイスメモを再生するには、以下の操作を行います。
待受画面でシャッター/メモキー (サイドキー) ▶ ④ 「Myボイスメモ再生」 ▶ 再生したいMyボイスメモを選択し、⑤ 【再生】
- 通話中にMyボイスメモを再生すると、Myボイスメモの内容は相手と自分の両方に聞こえます。
- Myボイスメモ一覧画面で以下の操作を行うと、メニュー画面が表示されます。

Myボイスメモ一覧画面で ③ 【メニュー】

以下の項目から選択します。

④ マイオリジナルへ登録	Myボイスメモ一覧をマイオリジナルへ登録します (「マイオリジナルを使う」27ページ)。
⑤ 削除	▶ ④ 「1件」または ⑥ 【全件】 Myボイスメモを削除します (「各機能の情報を削除する」142ページ)。

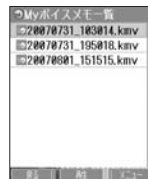
- Myボイスメモの録音または再生は以下の手順でも行えます。

待受画面で ① ▶ 「メモ」を選択し、② 【選択】 ▶ ④ 「Myボイスメモ」

以下の項目から選択します。

④ 録音	▶ ① 【開始】 ▶ 録音開始 ▶ 約30秒経過または ② 【停止】 で録音終了 Myボイスメモを録音します。
⑤ 再生	▶ 再生したいMyボイスメモを選択し、③ 【再生】 Myボイスメモを再生します。

Myボイスメモ
一覧画面



● 通信中の電話の着信を設定する (通信中着信)

機能番号17

通信中 (音声通信中、パケット通信中、PIAFS通信中、フレックスチェンジ方式通信中) に電話がかかってきたとき、着信を許可するかどうかを設定します。

お買い上げ時：
「起動」

待受画面で ① ▶ ③ ▶ ④

以下の項目から選択します。

④ 起動	パケット通信中 (フレックスチェンジ方式含む)	着信した電話を受ける (通話する) ことができます。
	音声通信中、PIAFS通信中 (フレックスチェンジ方式含む)	着信した電話を受ける (通話する) できませんが着信したことはわかります。
⑤ 停止	通信中は、電話の着信ができません。	

🔔 ご注意

- 「通信中着信」を④「起動」に設定していても、通信環境によっては着信できないことがあります。

🔔 お知らせ

- Eメールの送受信中は、通信中着信動作を行うことができません。

● 待受中に音声を録音する (Myボイスメモ登録) / ● 通信中の電話の着信を設定する (通信中着信)

● 通信中のメール受信を設定する（通信中メール受信）



機能番号18

通信中（音声通信中、パケット通信中、PIAFS通信中、フレックスチェンジ方式通信中）にEメール/ライトメールの受信を許可するかどうかを設定します。


お買い上げ時：
「起動」

待受画面で   

以下の項目から選択します。

 起動	パケット通信中 (フレックスチェンジ方式含む)	Eメール/ライトメールを受信することができます。
	音声通信中、PIAFS通信中 (フレックスチェンジ方式含む)	Eメール/ライトメールの受信をすることはできません。
 停止	通信中は、Eメール/ライトメールの受信をすることができません。	

 ご注意

- 「通信中メール受信」を「起動」に設定していても、通信環境によっては受信できない場合があります。
- Eメールの「通信中メール受信」の動作は、ウィルコムのみ有効となります。

 お知らせ

- Eメールの送受信中は、通信中メール受信動作を行うことができません。

● プロフィールを登録/確認する（プロフィール）

機能番号0













プロフィールの詳細を登録する

自分のプロフィールを登録します。

待受画面で

1     **【表示】**  **【メニュー】**  **【編集】**

以下の項目から選択します。

項目	詳細
 (名前)	自分の名前を入力します（全角、半角共に24文字まで）。
 (ヨミ)	自分の読みを入力します（半角カナ英数字、記号で24文字まで）。
 (電話番号)	電話番号を入力します（32桁まで）。
(電話番号種別)	電話番号種別を選択します。
 (Eメールアドレス)	Eメールアドレスを入力します（半角64文字まで）。
(Eメールアドレス種別)	Eメールアドレス種別を選択します。
 (住所)	住所を入力します（全角、半角共に40文字まで）。
(住所種別)	住所の種別を選択します。
 (URL)	URLを入力します（半角英数字、記号で255文字まで）。
 血液型	血液型を選択します。
 誕生日	誕生日を入力します。
 星座	星座を選択します。13星座から選択することもできます。
 (趣味)	趣味を入力します（全角、半角共に10文字まで）。
 (メモ)	メモを入力します（全角、半角共に80文字まで）。
 画像	データフォルダの画像データをリンクします。

・各項目の入力方法は、「アドレス帳に登録する」(40ページ) をご参照ください。

2 各項目を入力し、 **【登録】** または  **【登録】**

 お知らせ

- 「電話番号1」には、自分の電話番号がすでに登録されています。変更することはできません。
- 「メールアドレス3」は、オンラインサインアップで取得した自分のEメールアドレスが自動的に登録されます。変更することはできません。

登録したプロフィールの詳細を確認する

待受画面で **【表示】**

プロフィール詳細
表示画面

ご注意

●「メールアドレス3」は、オンラインサインアップ（48ページ）を行っていない場合、表示されません。



お知らせ

- 登録していない項目は、表示されません。
- プロフィール詳細表示画面で、以下の項目を選択すると、各操作を行うことができます。

項目	操作内容
電話番号2 電話番号3	▶ 【発信】 を押す 選択した電話番号に電話をかけます。
メールアドレス1 メールアドレス2 メールアドレス3	▶ 【Eメール作成】 を押す 選択したEメールアドレスを宛先としたEメールを作成します（「Eメールを作成して送信する」51ページ）。
URL	▶ 【接続】 を押す Webページにアクセスします（「インターネットの使いかた」68ページ）。
(画像)	▶ 【再生】 を押す 選択している画像データを表示します。

■ プロフィール詳細表示画面のメニューを使う

プロフィール詳細表示画面で **【メニュー】** を押す

以下の項目から選択します。表示される項目は、選択している項目により異なります。

項目	操作内容
1 発信*1	▶ 【発信】 を押す 選択した電話番号に電話をかけます。また、電話番号を編集して電話をかけることもできます。
2 ライトメール作成*1	▶ 選択した電話番号を宛先としたライトメールを作成します（「ライトメールを作成して送信する」54ページ）。
3 Eメール作成*2	▶ 選択したEメールアドレスを宛先としたEメールを新規作成します（「Eメールを作成して送信する」51ページ）。
4 URL接続*3	▶ Operaブラウザを起動し、選択したURLに接続します。
5 Eメールへ添付	▶ プロフィールを添付したEメールを作成します。 添付されたプロフィールデータのタイトル名はプロフィールの「名前」、データ名は「名前.vcf」となります。プロフィールの名前にファイル名として使用できない文字<>: ¥ * / ? * . ; が含まれているときは、タイトル名に「notitle.vcf」と表示されます。
6 編集	▶ プロフィールの情報を編集します。
7 リセット	▶ 【はい】 を押す 追加したプロフィール情報（電話番号1とメールアドレス3以外）をリセットします。

*1：電話番号（電話番号1以外）を選択しているときのみ表示されます。

*2：Eメールアドレスを選択しているときのみ表示されます。

*3：URLを選択しているときのみ表示されます。

お知らせ

●国際ローミングの使用をお申し込みされた場合、電話番号1には、ローミングモードが「日本/ウィルコム」のときは本機の電話番号が、それ以外のときはローミング用番号が表示されます（「国際ローミングを利用する」140ページ）。

●プロフィールを登録/確認する(プロフィール)

● 通話時間を表示する

通話時間についての機能や表示の設定を行います。

通話時間の合計を表示する（累積通話時間）

機能番号 11

今までにかけた電話と、かかってきた電話の通話時間合計の目安を表示します。

待受画面で ▶ ▶ ▶

以下の項目が表示されます。

発信時間（目安）	今までにかけた電話の通話時間合計の目安です。
着信時間（目安）	今までにかかってきた電話の通話時間合計の目安です。
通話時間計（目安）	かけた電話とかかってきた電話の通話時間合計の目安です。

累積通話時間
表示画面

累積通話時間	発信時間(目安) 0時間 3分16秒
着信時間(目安)	1時間29分 6秒
通話時間計(目安)	1時間32分22秒

ご注意

- この時間表示は目安です。

お知らせ

- 累積通話時間は999時間59分59秒まで表示されます。これを超えた場合、累積通話時間の表示は999時間59分59秒で停止します。
- 累積通話時間のリセットは、以下の手順で行います。
累積通話時間表示画面で 【メニュー】 ▶ 「通話時間リセット」 ▶ 暗証番号を入力

通話中に通話時間を表示させる（通話時間目安表示）

機能番号 12

通話時間目安表示を「ON」に設定すると、通話中に通話経過時間の目安をメインディスプレイに表示し、通話終了後にはその時間の目安を表示します。

待受画面で ▶ ▶ ▶ 「ON」または ▶ 「OFF」

ご注意

- この時間表示は目安です。

お買い上げ時：
「ON」

● エニーキーアンサーを設定／解除する（エニーキーアンサー）

機能番号 14

エニーキーアンサーを「ON」に設定すると、電話がかかってきたとき、、、、、、、、のいずれかのキーを押して電話を受けることができます。「OFF」に設定すると、のみで電話を受けられます。

待受画面で ▶ ▶ ▶ 「ON」または ▶ 「OFF」

お買い上げ時：
「OFF」

● 本体を開いたときの動作を設定する（着信時フォルダオープン）

機能番号 16

電話の着信時に本体を開いて電話を受けたり、着信音を消したり、本体を振動させたりするなどの設定を行います。

待受画面で ▶ ▶ ▶

以下の項目から選択します。

状態継続	本体を開く動作を行っても状態は変わりません。
着信応答	着信中の電話を受けます。
サイレント	着信音が消音になります。バイブレータが設定されているときは、バイブレータも止まります。
サイレント+バイブ	着信音が消音になり、本機が振動します。

お買い上げ時：
「状態継続」

● 通話時間を表示する／
● エニーキーアンサーを設定／解除する（エニーキーアンサー）
● 本体を開いたときの動作を設定する（着信時フォルダオープン）

● 上下キーに機能を設定する（上下キー割り当て）

機能番号95

待受中にフロントジョグ(○)で行うことのできる操作を設定します。

お買い上げ時：
「送受信メール一覧」

待受画面で ▶ ▶

以下の項目から選択します。

機能名	○	▽
1名前順	アドレス帳の「名前」検索	
2アドレス帳No.順	アドレス帳の「アドレス帳No.」検索	
3グループ順	アドレス帳の「グループ」検索	
4送受信メール一覧	受信メール一覧	送信メール一覧
5音声着信音量	音声着信音量を大きく	音声着信音量を小さく

ご注意

●ここで設定したフロントジョグ操作は、待受中のみ行うことができます。待受中以外の状態では、通話中は受信音量調節、着信中は着信音量調節などの操作になります。

● センターキーの長押しに機能を設定する（センターキー長押し割り当て） 機能番号96

待受中にセンターキー長押しで行うことのできる機能を設定します。

お買い上げ時：
「Eメール受信」

待受画面で ▶ ▶

以下の項目から選択します。

1Eメール受信	Eメールの受信を割り当てます。
2カメラ起動	カメラの起動を割り当てます。
3電卓	電卓の起動を割り当てます。
4ブックマーク	ブックマーク一覧の起動を割り当てます。

ご注意

●ここで設定したセンターキー長押し操作は、待受中のみ行うことができます。

● 電卓を使う（電卓）

電卓として使用します。電卓はメインディスプレイ中央の操作ガイドを見ながら操作することができます。

待受画面で

1 ▶ 「アクセサリ」を選択し、 [選択] ▶ 1.1 「電卓」

2 **ダイヤルキーと以下のキーを使用して計算する**

	+ (たす)		小数点を入力します。
	- (ひく)		M+ (メモリに加算)
	× (かける)		% (パーセント表示)
	÷ (わる)		MR (メモリの値を表示)
	= (計算結果表示)		C (表示している数字のクリア)

お知らせ

- 電卓機能の表示可能な桁数は10桁までです。
- 計算の結果にエラーが出た場合は「E」が表示されます。このときを押すとエラーが解除されます。

●センターキーの長押しに機能を設定する (センターキー長押し割り当て) / ●電卓を使う (電卓)

● 平型イヤホンマイクを接続する（イヤホン自動応答）

機能番号19

「イヤホン自動応答」を「ON」に設定すると、平型イヤホンマイク（市販品）を接続しているときに、手で操作しなくても「イヤホン自動応答秒数」（137ページ）で設定した時間が経過すると、自動的に電話を受け取ることができます。


お買い上げ時：
「ON」

待受画面で     「ON」または  「OFF」

ご注意

- 伝言メモ（28ページ）が同時に設定されているときは、設定時間の短いほうが優先されます。
- 平型イヤホンマイクのスイッチでも着信応答ができます。
- 平型イヤホンマイクは平型プラグのものが使用できます。

お知らせ

- 平型イヤホンマイクで通話を終了する場合は 、または平型イヤホンマイクのスイッチを押してください。
- 平型イヤホンマイクの使いかたについては、平型イヤホンマイク（市販品）の取扱説明書をご参照ください。

● 平型イヤホンマイクの応答時間を設定する（イヤホン自動応答秒数）

機能番号10

「イヤホン自動応答」（137ページ）を「ON」に設定しているとき、自動的に電話を受け取るまでの時間（応答時間）を「00秒」～「30秒」に設定できます。

お買い上げ時：
「09秒」

待受画面で      で応答時間を選択し、 【選択】

お知らせ

- ダイヤルキーを利用して応答時間を入力することもできます。

● 平型イヤホンマイクを接続する（イヤホン自動応答）
● 平型イヤホンマイクの応答時間を設定する（イヤホン自動応答秒数）

● 現在の位置情報を通知する

一つの基地局のカバーするエリアが半径100～500mという利点を生かし、発信／着信の際に把握する近隣の基地局からの情報を利用して位置情報サービスが情報提供会社から提供されています。

- ・ L (Location Information/位置情報通知) 機能：本機が認識する複数の基地局とその電界強度を通知する機能です。この機能によって、自分がいる位置またはその周辺の情報などを知ることができます（測位の誤差が発生する場合があります）。
- ・ 自動位置情報送出：「L設定」を「ON」に設定すると、自動位置情報送出を設定することができます。本機に通知許可番号として登録している電話番号から遠隔操作で現在位置の送出を要求された場合、自動的に位置情報を通知します。

L機能を設定する (L設定)

機能番号91

「L設定」を「ON」に設定すると、「自動位置情報送出」を設定することができます。位置情報サービスを利用することができます（ウィルコムへの加入、ウィルコム位置検索サービス、位置情報サービス提供会社などへのお申し込みが必要）。位置情報サービスを利用すると、遠隔操作により、移動する人や物などの位置を、パソコンなどのディスプレイ上にリアルタイムで表示します。送子防止や物品の管理のためなどに設定することができます。

お買い上げ時：
「OFF」

自動位置情報送出では、以下の3つの機能を設定することができます。

- ・ 自動位置情報送出
- ・ 位置情報を通知する電話番号（通知許可番号）の登録／修正／消去
- ・ 位置情報送出時の送出確認音の設定

待受画面で

1 「ON」

現在の自動位置情報送出の設定状況が表示されます。

2 「設定」 暗証番号を入力

以下の項目から選択します。

自動位置情報送出機能 お買い上げ時： 「OFF」	「ON」を押す 通知許可番号として登録されている電話番号から位置情報送出が要求されたとき、位置情報を自動的に送るかどうかの設定をします。あらかじめ、通知許可番号を登録しておく必要があります。
着信音設定 お買い上げ時： 「OFF」	「ON」を押す 自動位置情報送出で位置情報を送ったときに、送信確認音を鳴らすかどうかの設定をします。
通知許可番号	位置情報送出が要求されたときに、位置情報を自動的に送る電話番号の登録をします（「通知許可番号と通知許可パスワードを登録する」138ページ）。

自動位置情報
送出設定画面



ご注意

- 自動位置情報送出機能を利用するときは、「L設定」を 「ON」に設定し（「L機能を設定する」138ページ）、有効な通知許可番号が登録されている必要があります（「通知許可番号と通知許可パスワードを登録する」138ページ）。

お知らせ

- 「自動位置情報送出機能」で位置情報を送る相手の電話番号は、 「通知許可番号」で設定します（「通知許可番号と通知許可パスワードを登録する」138ページ）。
- 「自動位置情報送出機能」を設定すると、メインディスプレイに「」が表示されます。「L設定」が 「OFF」に設定されているときは、「」は表示されません。

■ 通知許可番号と通知許可パスワードを登録する

機能番号913

自動位置情報を送る電話番号を、「通知許可番号」として登録します。電話番号は5桁まで登録することができます。それぞれに通知許可パスワードを設定します。通知許可パスワードについては、ウィルコム位置検索サービス、位置情報サービス提供会社へお問い合わせください。

お買い上げ時：
通知許可番号：未登録
通知許可パスワード：
未登録

自動位置情報送出設定画面で

1 「通知許可番号」 登録する番号を選択 「メニュー」 「登録」

2 「通知許可番号」を入力し、 「通知許可パスワード」を入力し、 「登録」

お知らせ

- 入力できる通知許可番号は20桁までです。
- 入力できる通知許可パスワードは1桁から8桁までです。

■ 通知許可番号と通知許可パスワードを編集／削除する

登録した通知許可番号と通知許可パスワードを編集／削除します。

〔自動位置情報送設定画面で〕 〔2〕 「通知許可番号」 ▶ 編集または削除する番号を選択 ▶ 〔3〕 【メニュー】

以下の項目から選択します。

〔1〕編集	▶ 〔1〕 「通知許可番号」を編集し、〔2〕 「通知許可パスワード」を編集し、〔3〕 【登録】 登録済みの通知許可番号と通知許可パスワードを編集します。
〔2〕削除	▶ 〔1〕 「1件」または〔2〕 「全件」 通知許可番号と通知許可パスワードを削除します（「各機能の情報を削除する」142ページ）。

位置情報を通知する

〔L〕設定を「ON」に設定すると、必要なときに任意の電話番号（位置表示用ディスプレイなどの周辺機器）に位置情報を通知することができます。

〔待受画面で〕 〔1〕 を長く（1秒以上）押し、発信画面に「♥」を表示させる ▶ 電話番号を入力する ▶ 〔2〕



- 電話番号は、発信履歴（23ページ）、着信履歴（23ページ）、アドレス帳（43ページ）からも呼び出すことができます。
- 位置情報を通知または送出するときは、分計発信（154ページ）を使用できます。

相手から位置情報送の要求があったとき

〔L〕設定 および「自動位置情報送機能」を「ON」に設定すると、あらかじめ登録している「通知許可番号」から位置情報送の要求があったとき、自動的に位置情報を送ります。詳しくは、ウィルコム位置検索サービス、位置情報サービス提供会社へお問い合わせください。



- 本機を操作中に位置情報送の要求があったとき、操作は中断されます。位置情報の送出が終了すると、待受画面に戻ります。

所在位置を登録する

〔L〕設定 および「自動位置情報送機能」を「ON」に設定すると、本機の所在位置を登録することができます。位置情報送の要求があったときは、登録した情報が送られます。また、位置情報と一緒に、そのときの状態を「ステータスコード」を使って登録することもできます。詳しくは、ウィルコム位置検索サービス、位置情報サービス提供会社へお問い合わせください。

■ 所在位置のみ登録する

〔待受画面で〕

1 〔1〕 を長く（1秒以上）押し

位置情報送信画面が表示されます。

2 〔2〕 を押し

位置情報動作中画面が表示されます。送信が終了すると、送信終了画面に切り替わり、待受画面に戻ります。

■ 所在位置とステータスコードを登録する

〔待受画面で〕 〔1〕 ▶ ステータスコードを入力する ▶ 〔2〕 ▶ 〔3〕



- ステータスコードを登録する際は、184発信、186発信、分計発信は使用できません。



- ステータスコードは「1」～「20」の範囲で入力してください。ステータスコードの詳細についてはウィルコム位置検索サービス、位置情報サービス提供会社へお問い合わせください。
- 位置情報サービスについては下記までお問い合わせください。
ロケーション株式会社
電話 0120-180313（フリーダイヤル）
受付時間 9:00～17:00（土日祝日、ロケーション株式会社の休日を除く）
URL <http://www.tli-net.jp/>

● 国際ローミングを利用する（お申し込み必要）（国際ローミング） 機能番号94

ウィルコムに別途国際ローミング契約をお申し込みになると、本機が台湾やタイ、ベトナム、中国の一部地域でも使えるようになります。台湾やタイ、ベトナム、中国でご使用になる場合には、本機をローミングモードに切り替える必要があります。詳細については、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。
本機を充電する際のACアダプタ（AD320K）は、AC100V専用です。日本以外で充電する場合は、その国に対応している変圧器をご使用ください。

ローミングモードに切り替える（国・地域／事業者選択） 機能番号94-1

ローミングモードで使用するには、ローミングモードへ切り替える必要があります。

お買い上げ時：
「日本／ウィルコム」

待受画面で ▶ ▶ ▶

以下の項目から選択します。

日本／ウィルコム	本機を日本で使用できるように切り替えます。
台湾／大衆電信FITEL	本機を台湾で使用できるように切り替えます。
タイ／true	本機をタイで使用できるように切り替えます。
ベトナム／VNPT	本機をベトナムで使用できるように切り替えます。
中国／中国PHS	本機を中国の一部地域で使用できるように切り替えます。

ご注意

● 台湾、タイ、ベトナム、または中国でのご使用后、日本に帰国した際は、必ずローミングモードを「日本／ウィルコム」に切り替えてください。

お知らせ

● ローミングモードを「日本／ウィルコム」以外に切り替えると、メインディスプレイに「」が表示されます。

● ローミングモードでは、以下の機能はご利用になれません。

- ・ 安全運転モードのネットワーク応答、ネットワーク応答＋音声メモの切り替え
- ・ 発信者番号付加機能（184、186）
- ・ 分計発信
- ・ ライトメール送信・受信
- ・ Eメール自動受信
- ・ LI設定
- ・ 通信中着信
- ・ 通信中メール受信

● ローミングモード時は、時差情報により本機の時刻は現地時間に合わせて自動的に調整されます。

ローミングモードで電話をかける

ローミングモードで電話をかけるには、直接相手の電話番号を入力し、を押します。

ローミング国・地域から日本など他の国や地域に電話をかけるときには、国際プリフィックス番号の入力が必要となります。

ローミングモードで電話を受ける

ローミングモードで電話を受けるには、ローミング電話番号、ウィルコムの電話番号のどちらでも電話を受けることができます。ただし、ウィルコムの電話番号で電話を受けるには、ウィルコムへのお申し込みが必要となります。

国際プリフィックス番号を簡単に付ける

ローミングモードのご利用時に、日本など他の国や地域に電話をかけるときには、相手の国番号の前に「国際プリフィックス番号」を付ける必要があります。本機では、簡単な操作で国際プリフィックス番号を入力することができます。

例：日本の「070-1234-x x x x」という番号に電話をかける場合

待受画面で

1 ▶

選択した国番号や割り当てられた国際プリフィックス番号が表示されます。

2 ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶

相手の電話番号から、先頭の「0」を除いた番号（ここでは「701234 x x x x」）を入力します。

3 を押す

お知らせ

●発信履歴、着信履歴、ダイヤルメモ、またはアドレス帳に登録されている電話番号に国際プリフィックス番号を付加して電話をかけるには、以下の手順を行います。

■発信履歴／着信履歴の電話番号に付加する場合

待受画面で①(発信履歴)または②(着信履歴) ▶ ③【メニュー】 ▶ ④「発信」 ▶ ⑤で表示されている電話番号の頭にカーソルを合わせる ▶ ⑥ ▶ ⑦ ▶ ⑧

■アドレス帳に登録されている電話番号に付加する場合

待受画面で⑨【アドレス帳】 ▶ (検索するアドレス帳の「名前」を入力し、⑩【検索】 ▶)・アドレス帳を選択し、⑪【詳細表示】 ▶ 電話番号を選択 ▶ ⑫【メニュー】 ▶ ⑬「発信」 ▶ ⑭で表示されている電話番号の頭にカーソルを合わせる ▶ ⑮ ▶ ⑯

*: アドレス帳の検索方法は「呼び出し時検索設定」の設定(46ページ)で異なり、ここでは検索画面で「名前」を入力してアドレス帳を表示する方法(お買い上げ時の設定)で説明しています。

ローミング情報を登録する(ローミング情報登録)

機能番号942

ローミング情報の登録は、手入力による登録と、ローミングメール登録の2とおりがあります。ここでは、手入力による登録方法を説明します。

待受画面で

1 ① ▶ ② ▶ ③ ▶ ④

■台湾の場合

2 ①【台湾/大衆電信FITEL】 ▶ ②【ローミング電話番号】 ▶ ローミング電話番号を入力し、③【登録】

■タイ、ベトナム、または中国の場合

2 ④【タイ/true】、⑤【ベトナム/VNPT】、または⑥【中国/中国PHS】

以下の項目から選択し、必要な項目を登録/編集します。

①登録日時	ローミング情報が登録された日時を表示します。
②ローミング先PS-ID	▶ ローミング先PS-IDを入力する
③PS番号	▶ PS番号を入力する
④ローミング電話番号	▶ ローミング電話番号を入力する 入力できる桁数は32桁までです。
⑤暗証番号	▶ 暗証番号を入力する 入力できる桁数は2桁までです。

3 ⑦【登録】を押す

お知らせ

●ローミングメール登録とは、お客様がウィルコムサービスセンターで国際ローミングのお申し込みをされた後、約1時間程でライトメールにて通知され、自動的に本機に登録される方法です。

●ローミング情報をリセットした場合は、以下の手順で登録し直します。

■タイ、ベトナム、または中国の場合

ローミングメールで通知された内容をコピー ▶ 待受画面で⑧ ▶ ⑨ ▶ ⑩ ▶ ⑪ ▶ ⑫【タイ/true】、⑬【ベトナム/VNPT】、または⑭【中国/中国PHS】 ▶ 「はい」を選択し、⑮【選択】 ▶ ローミング情報(SO情報)が入力されていることを確認し、⑯【登録】

●ローミング電話番号を登録すると、登録した電話番号をプロフィール(「プロフィールを登録/確認する」133ページ)で確認することができます。

ローミング情報を削除する

選択した国のローミング情報をすべて削除します。

待受画面で ① ▶ ② ▶ ③ ▶ ④ ▶ ⑤【削除】 ▶ ⑥【はい】

● 各機能の情報を削除する

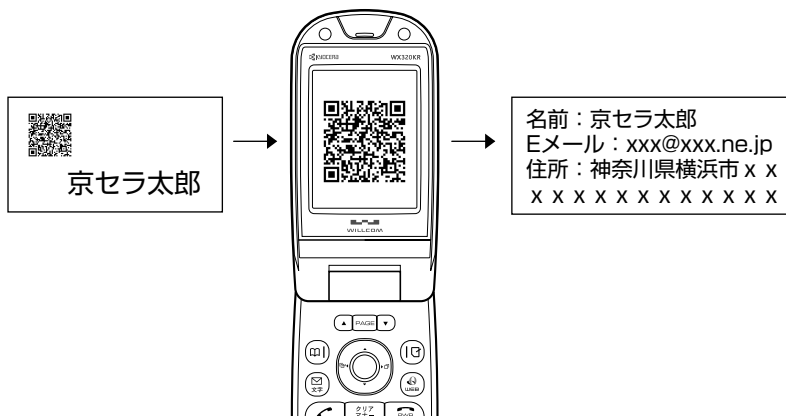
発信履歴やアドレス帳など、各機能の情報を削除するには、**☰**【メニュー】でメニューを表示させて、「削除」を選択します。機能によって、「削除」を選択した後、「1件」「全件」などの削除方法を選択します。

削除方法	内容
1件/1件削除	▶ ☰ 【はい】を押す 選択している、または表示している内容を削除します。
選択	▶ 削除する内容を選択し、 ● 【選択】を繰り返す ▶ ☰ 【削除】または ☰ 【削除】 ▶ ☰ 【はい】 削除したい内容を複数選択し、削除します。選択を解除するには、選択したデータを選択し、 ● 【解除】を押します。
全件/全削除	▶ 暗証番号を入力 ▶ ☰ 【はい】 すべての内容を削除します。
グループ	アドレス帳の削除で表示されます。 ▶ 暗証番号を入力 ▶ ☰ 【はい】 選択したグループを削除します。
チェック済み	TODOリストの削除で表示されます。 ▶ 暗証番号を入力 ▶ ☰ 【はい】 チェックが付いているTODOをすべて削除します。
指定日以前	スケジュールの削除で表示されます。 ▶ 暗証番号を入力 ▶ ● 【選択】 ▶ 指定日を入力し、 ● 【選択】 ▶ ☰ 【はい】 指定日以前のスケジュールをすべて削除します。
フォルダ/フォルダ内	データフォルダ、ブックマークの削除で表示されます。 ▶ 暗証番号を入力 ▶ ☰ 【はい】 フォルダ内のデータをすべて削除します。


● QRコードリーダーを使う

QRコードリーダーを起動する

QRコード (Quick Response Code) とは、豊富な情報量を持った2次元コードです。本機のカメラでQRコードを撮影して読み取ったり、データフォルダに保存したQRコードの画面を解析することができます。読み取ったEメールアドレスやURL、住所などの文字情報を使って、アドレス帳登録やメール作成などが行えます。



■ カメラのモニター画面から起動する

カメラで撮影したQRコードを読み取ります。QRコードを読み取るには、マクロ撮影切替スイッチ（13ページ）を「」に切り替えてください。

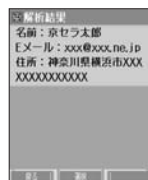
待受画面で  ▶ 「カメラ」を選択し、 【選択】 ▶  「撮影」 ▶  【メニュー】 ▶

 「QRコードモード」 ▶ QRコードを画面に表示し、 【撮影】

 ご注意

● QRコードが汚れている、かすれている、印刷が薄いなどの場合は、読み取れないことがあります。

解析結果画面








■ アクセサリから起動する

データフォルダに保存したQRコードの読み取り、保存した解析結果の表示、QRコードリーダーのバージョン情報の確認ができます。

待受画面で  ▶ 「アクセサリ」を選択し、 【選択】 ▶  「QRコードリーダー」






















以下の項目から選択します。

 画像解析	▶ QRコードの画像データを選択し、  【選択】 データフォルダに保存したQRコードの画像を解析して、解析結果を表示します。
 保存データを表示	▶ QRコードデータを選択し、  【選択】 保存していた解析結果を表示します。
 バージョン情報	QRコードリーダーのバージョンを表示します。

■ QRコード解析画面のメニューを使う

解析結果画面で  【選択】を押す

以下の項目が表示されます。表示できる項目は、選択している項目により異なります。

 保存	解析結果を保存します。保存した解析結果のファイル名は、QR_YYYYMMDDhhmm.QRCとなります（Y：年、M：月、D：日、h：時、m：分）。ただし、解析結果がvCard/vCalendarの場合、拡張子はそれぞれ「.vcf」/「.vcs」となります。
 コピー	▶ コピー範囲の始点を選択し、  【始点】 ▶ 終点を選択し、  【終点】 解析結果のテキスト内容をコピーします（全角、半角共に1024文字まで）。
 発信*1	▶  【発信】を押す 選択した電話番号に電話をかけます。また、電話番号を編集して電話をかけることもできます。
 アドレス帳へ登録	 新規 選択した電話番号やEメールアドレス、URLなどをアドレス帳に新規登録します（「アドレス帳の各項目を登録する」40ページ）。
	 追加 ▶ （検索するアドレス帳の名前を入力し、  【検索】 ▶）*アドレス帳を選択し、  【選択】 ▶ 登録先を「電話番号1～3」または「Eメールアドレス1～3」またはURLを選択し、  【選択】 ▶  【登録】または  【登録】 ▶  【はい】 *：アドレス帳の検索方法は「呼び出し時検索設定」の設定（46ページ）で異なり、ここでは検索画面で「名前」を入力してアドレス帳を表示する方法（お買い上げ時の設定）で説明しています。 すでに登録されているアドレス帳データに、電話番号やEメールアドレス、URLなどを追加登録します。
 ライトメール作成*1	選択した電話番号を宛先としたライトメールを作成します（「ライトメールを作成して送信する」54ページ）。
 Eメール作成*2	選択したEメールアドレスを宛先としたEメールを作成します（「Eメールを作成して送信する」51ページ）。
 URLページへ接続*3	選択したURLのWebページをOperaブラウザで表示します。
 ブックマークへ登録*3	▶ タイトルを入力し、  【登録】 選択したURLをブックマークに登録します。
 マイオリジナルへ登録*4	QRコードを、マイオリジナルに登録します（「マイオリジナルを使う」27ページ）。

*1：電話番号を選択した場合のみ表示されます。

*2：Eメールアドレスを選択した場合のみ表示されます。

*3：URLを選択した場合のみ表示されます。

*4：データフォルダに保存されているQRコードのデータの場合のみ表示されます。

● Java™アプリについて

Java™アプリとは、PHSや携帯電話でゲームなどをご利用いただけるアプリケーションソフトです。Java™対応サイトからお好みのアプリケーションをインストールし、本機でお楽しみいただけます。本機には、「アルカノイド」、「上海【体験版】」、「ぶよぶよ体験版90」がプリインストールされています。

Java™アプリをインストールする

Java™対応サイトからお好みのアプリケーションをインストールできます。インストールしたアプリケーションは、「アプリ一覧」に保存されます。アプリケーションには2種類のデータ（「.jad」「.jar」）があり、種類によってインストールの操作方法が異なります。

■ Java™アプリを提供するWebサイトからインストールする場合

待受画面で **④** ▶ **①** 「公式サイト」 ▶ 画面の指示に従って「ゲーム/アプリ」などをインストールする

■ データフォルダに保存されている「.jad」「.jar」を使用してインストールする場合

待受画面で **②** ▶ 「データフォルダ」を選択し、**③** 「選択」 ▶ **④** 「その他」 ▶ 拡張子が「.jad」のファイルを選択し、
⑤ 「選択」

⚠ ご注意

- インストールは、電波状況の良い場所で行ってください。電波状況が悪い場所や移動中は、正しくインストールされない場合があります。
- データフォルダの空き容量が足りない場合は、エラーメッセージが表示されます。不要なデータを削除して空き容量を確保してください（「データを削除する」101ページ）。
- Java™アプリに操作ロックが設定されていると、Java™アプリは起動できません（「使用制限を設定/解除する」122ページ）。

📢 お知らせ

- お客様がインストールされたアプリケーションの動作については、各アプリケーション提供会社へお問い合わせください。

Java™アプリを起動する

待受画面で

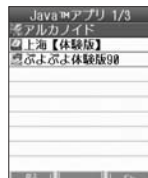
1 **②** ▶ 「アクセサリ」を選択し、**③** 「選択」 ▶ **④** 「Java™アプリ」 ▶ **⑤** 「アプリ一覧」

2 起動したいアプリケーションを選択し、**⑥** 「決定」 ▶ 各アプリケーションの画面の指示に従って操作する

⚠ ご注意

- データフォルダの空き容量が足りない場合は、アプリケーションを起動できない場合があります。不要なデータを削除して空き容量を確保してください（「データを削除する」101ページ）。







Java™アプリ一覧画面



Java™アプリ一覧画面のメニューを使う

Java™アプリ一覧画面で  **【メニュー】** を押す

以下の項目から選択します。表示される項目は、登録されている内容により異なります。

新規フォルダ作成	<p>▶ フォルダ名を入力し  【選択】</p> <p>フォルダを作成すると、アプリケーションをフォルダごとに管理できます。</p>
フォルダ削除*	<p>▶ 「Yes」を選択し、 【決定】</p> <p>選択しているフォルダを削除します。選択したフォルダ内にアプリケーションが登録されている場合は、削除できません。</p>
フォルダ名編集*	<p>▶ フォルダ名を編集し、 【選択】</p> <p>「新規フォルダ作成」で作成したフォルダ名を編集します。</p>
移動	<p>▶ 移動先のフォルダを選択し、 【決定】</p> <p>選択したアプリケーションを別のフォルダに移動します。</p>
アップデート	<p>▶ 「Yes」を選択し、 【決定】</p> <p>アプリケーションのソフトが更新されている場合はバージョンアップを行います。</p>
削除	<p>▶ 「Yes」を選択し、 【決定】</p> <p>選択したアプリケーションまたはフォルダを削除します。</p>
全削除	<p>「Java™アプリ一覧」に登録されているアプリケーションとフォルダをすべて削除します（「各機能の情報を削除する」142ページ）。</p>
ソート	<p>名前、起動日時、作成日時、サイズ、起動回数による昇順/降順を選択すると、選択した順に表示します。</p>
詳細情報	<p>選択しているアプリケーションの詳細情報を表示します。</p>
許可設定	<p>「ネットワーク接続」と「ローカルポート使用」があります。</p>
システム情報	<p>「Java™アプリ一覧」の登録容量を表示します。</p>
マイオリジナル	<p>選択したアプリケーションを、マイオリジナルに登録します（「マイオリジナルを使う」27ページ）。</p>

*：フォルダを選択しているときのみ表示されます。















●「削除」および「全削除」では、プリインストールされている「アルカノイド」、「上海【体験版】」、「ぶよぶよ体験版90」も削除できます。ただし、一度削除したアプリケーションは復元できませんのでご注意ください。

Java™アプリの設定をする

待受画面で  ▶ **【アクセサリ】** を選択し、 **【選択】** ▶  **【Java™アプリ】**

以下の項目から選択します。

 アプリ一覧	<p>あらかじめプリインストールされている「アルカノイド」、「上海【体験版】」、「ぶよぶよ体験版90」や、お客様がインストールしたアプリケーションが登録されています。登録したアプリケーションの起動は、ここから行います（「Java™アプリを起動する」144ページ）。</p>	
 公式サイトから探す*	<p>▶  【はい】 を押す</p> <p>公式サイトに接続して、Java™アプリをダウンロードすることができます。</p>	
 接続先設定	<p>▶  ~  （接続先を選択）</p> <p>お買い上げ時：「CLUB AIR-EDGE」</p> <p>アプリケーションの通信先を設定します。</p>	
 自動起動設定	<p>▶  【ON】 または  【OFF】</p> <p>お買い上げ時：「ON」</p> <p>アラーム登録のできるアプリケーションの自動起動を行うかどうかの設定をします。</p>	
 サウンド	 【常に再生する】	<p>アプリケーションのサウンドを常時再生します。マナーモード設定中（30ページ）でも音が鳴ります。</p>
	 【端末の設定に従う】	<p>アプリケーションのサウンドを、本機の音関連の設定に従って再生します。</p>

*：Operaブラウザの表示モードは、「ケータイモード」（お買い上げ時の設定）の設定をおすすめします。表示モードの設定方法については、「Operaブラウザの表示モードを切り替える」（71ページ）、「Opera（WEB）メニューからの環境設定」（80ページ）をご参照ください。

● データのバックアップをする

アドレス帳や送受信したメールの内容などを、データフォルダにバックアップしておくことができます。バックアップできるデータは以下のとおりです。

- ・アドレス帳 (40ページ) ・ブックマーク (72ページ)
- ・スケジュール (114ページ) ・受信メール (50ページ)
- ・TODOリスト (117ページ) ・送信メール (50ページ)

待受画面で **○** ▶ **「アクセサリ」** を選択し、**○** **「選択」** ▶ **Ⓜ** **「バックアップ」**

バックアップ画面



データをバックアップ (エクスポート) する

それぞれの機能に登録されているデータを、データフォルダにエクスポート (書き込み) することができます。

バックアップ画面で **1** **「エクスポート」** ▶ **1** **「アドレス帳」**、**2** **「スケジュール」**、**3** **「TODOリスト」**、**4** **「ブックマーク」**、**5** **「送信メール」**、または **6** **「受信メール」** ▶ **暗証番号を入力** ▶ **1** **「はい」**

● ご注意

- データフォルダの空き容量が不足している場合は、エラーメッセージが表示されます。不要なデータを削除し、空き容量を確保してください (「データを削除する」101ページ)。

● お知らせ

- エクスポートしたデータはデータフォルダの「その他フォルダ」に保存されます。ファイル名は以下のとおりです。

データの種類	ファイル名
アドレス帳	AD320K.KBF
スケジュール	SD320K.KBF
TODOリスト	TD320K.KBF
ブックマーク	BM320K.KBF
送信メール	SM320K.KBF
受信メール	RM320K.KBF

- エクスポートしたデータのファイル名は、変更することができます。ただし、ファイル名を変更した場合は、バックアップデータをインポートする (146ページ) ことはできません。
- データフォルダに、同名のバックアップファイルが保存されている場合は、そのバックアップファイルに上書きします。
- バックアップファイルは、データフォルダから削除することができます (「データを削除する」101ページ)。

バックアップデータをインポートする

データフォルダに保存したバックアップデータを、それぞれの機能に保存し直します。

バックアップ画面で **2** **「インポート」** ▶ **1** **「アドレス帳」**、**2** **「スケジュール」**、**3** **「TODOリスト」**、**4** **「ブックマーク」**、**5** **「送信メール」**、または **6** **「受信メール」** ▶ **暗証番号を入力** ▶ **1** **「はい」**

● ご注意

- データフォルダに保存されているバックアップデータのファイル名を変更した場合は、バックアップデータをインポートすることができません。

● お知らせ

- データをインポート中、**Ⓜ** を押したり、着信などによってインポートが中断された場合は、中断されたときにインポートしていた内容までが保存されます。

●パソコンへのデータのバックアップについて

データのバックアップは、パソコンにも行うことができます。その際は、付属CD-ROMの「京セラPHSユーティリティソフトウェア」をインストールしてください。

インストール方法については、付属CD-ROMのインストーラーの指示にしたがってください。

「京セラPHSユーティリティソフトウェア」の詳細については、「京セラPHSユーティリティソフトウェア」をインストールした後に取扱説明書をご覧ください。

対応OS：Windows Vista／XP／2000／Me／98SE（日本語版プリインストールモデルに限る）

データ通信の使いかた

● データ通信の準備をする

パソコンと本機をUSBケーブルで接続してデータ通信をするために必要なものは、以下のとおりです。

- ・ USBケーブル
- ・ USB端子を備えたノートパソコンなど各種情報端末
- ・ 通信ソフト

● データ通信について

本機で利用できるデータ通信方式は、以下の方式があります。

通信方式	最大通信速度	説明	付加番号	
4xパケット方式	204kbps*	ウィルコムが提供する、パケット通信方式です(W-OAM対応)。情報をパケットに分割して、パケット単位で情報をやりとりする方式です。	##64	
2xパケット方式	102kbps*	数分程度電波が弱くなったり途切れたりしても、できるだけ回線を維持し、より信頼性の高い通信環境を実現します。	##64	
1xパケット方式	51kbps*	ご利用になるには、ウィルコムの1x/2x/4xパケット方式に対応した料金コースにご契約いただき、アクセスポイントに接続してください。	##61	
フレックスチェンジ方式	64kbps	ウィルコムが提供する、1xパケット方式と64kPIAFS(ベストエフォート方式)の通信方式を、送受信されるデータ量や通信状況に応じて自動的に切り替える方式です。安定した速度を得ることができるため、より快適にデータ通信をご利用できます。ご利用になるには、ウィルコムのフレックスチェンジ方式に対応した料金コースにご契約いただき、専用のアクセスポイントに接続してください。	##7	
32kPIAFS	32kbps	PHSの通信標準規格の通信方式です。	##3	
64kPIAFS	ベストエフォート方式	64kbps	ウィルコムが提供する、データ通信方式です。基地局の利用状況など、通信環境に対応して64/32kbpsの通信速度を選択し、切れにくい通信環境を実現します。	##4
	ギャランティ方式	64kbps	64kbps固定でのデータ通信方式です。64kbpsの通信が確保できない場合は切断します。	

* : W-OAM対応地域における最大通信速度となります。

非対応地域では、それぞれ以下のようになります。

4xパケット方式 : 128kbps

2xパケット方式 : 64kbps

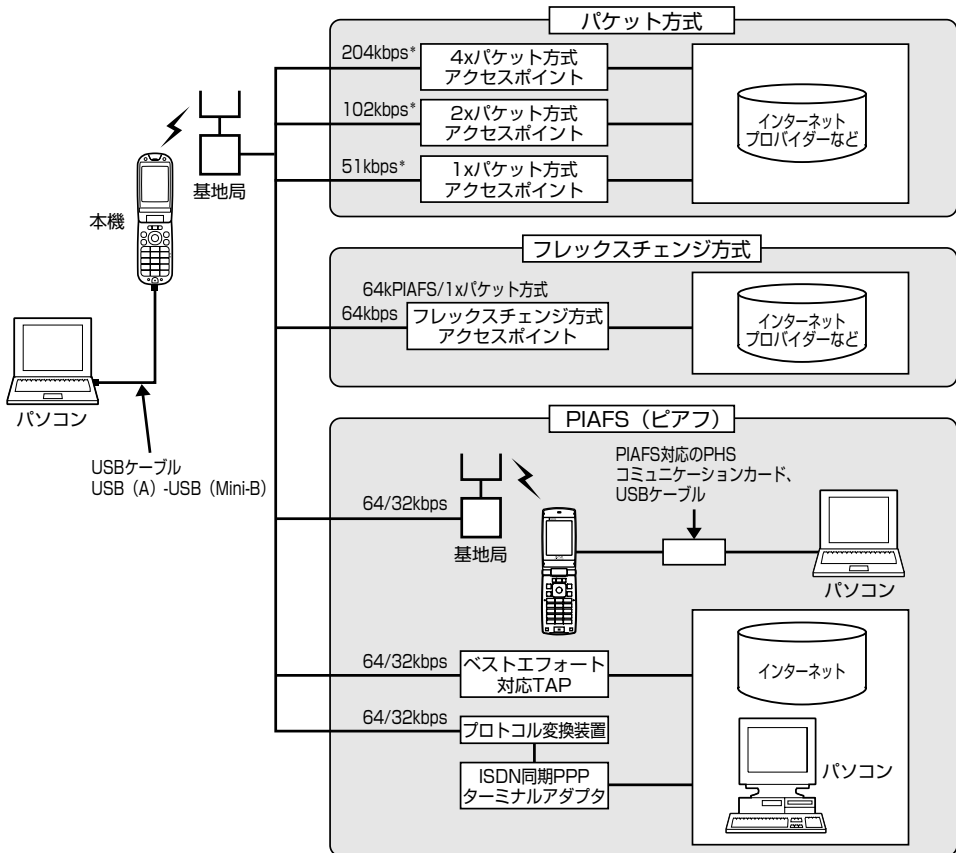
1xパケット方式 : 32kbps

● ご注意

- パケット方式を使用する場合は、「発信者番号通知」(25ページ)を「ON」に設定してください。
- パソコンへのメールソフトの設定、ダイヤルアップの設定につきましては、各プロバイダーにお問い合わせください。
- PIAFS方式で使用する場合でも、プロバイダーによっては「発信者番号通知」(25ページ)を「ON」に設定する必要があります。
- ダイヤルアップ用の電話番号の最後に、必ずご利用の通信方式に合わせた付加番号を入力してください。

● お知らせ

- W-OAMとは、電波状況に応じて、最適な変調方式を自動的に選択する無線技術です。



*: W-OAM対応地域における最大通信速度となります。
 非対応地域では、それぞれ以下ようになります。
 4xパケット方式：128kbps
 2xパケット方式：64kbps
 1xパケット方式：32kbps

お知らせ

- PIAFSとは、PHS Internet Access Forum Standardの略で、PHSでデータ通信を行う場合の標準規格です。
- bpsとは、Bits Per Secondの略で、データ通信で送る情報量の単位です。1秒間に何ビットのデータを送ることができるかを示します。
- 無線FAX、無線モデム、無線インターネットには対応していません。

● データ通信について

データ通信に関してのお問い合わせ窓口

ウィルコムサービスセンター

- ウィルコムの電話から 局番なしの157 (無料)
- 一般加入電話/公衆電話から 0120-921-157 (無料)
 ※携帯電話・PHSからもかけられます。

受付時間：9：00～19：00 (日・祝日も受付)

(2007年9月現在)

● 64kPIAFSの通信方式を設定する（データ通信方式）

機能番号92

64kPIAFS通信の方式を、「ベストエフォート型」と「ギャランティ型」から選択することができます。

お買い上げ時：
「ベストエフォート型」

待受画面で 92 22 13 「ベストエフォート型」または 22 「ギャランティ型」

お知らせ

- ウィルコムと契約をされている場合は、 13 「ベストエフォート型」に設定してください。
- ウィルコム以外の事業者と契約をされている場合は、各事業者の通信方式を確認してください。

● 本機とパソコンを接続する

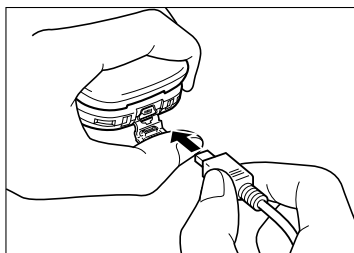
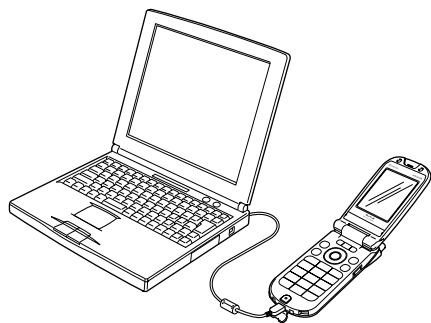
データ通信をするために本機とパソコンをUSBケーブルで接続します。

1 パソコンを起動する 付属のCD-ROMからUSBドライバをインストールする

2 USBケーブルの幅広コネクタの向きをよく確認し、パソコンのUSBポートに接続する

3 本機のUSB端子カバーをはずし、USBケーブルのMini-BコネクタをUSB端子にまっすぐ差し込む

接続が完了し、データ通信が可能な状態になったときは「ビボ」という確認音が鳴ります（着信音が設定されているとき）。ただし、パソコン側で低消費電流設定をしていると、接続しても「データ通信OK」と表示されないことがあります。



USB端子のカバーを押さえて、USBケーブルを差し込んでください。

お知らせ

- USBケーブルを取りはずすときは、接続と逆の順序で行ってください。
- ご使用になるパソコンなどの詳しい設定や操作については、パソコンなどに付属の取扱説明書をお読みください。
- 本機を卓上ホルダに置いて充電しながらデータ通信を行うと、バッテリーの消費を節約することができます。
- 同梱品以外のUSBケーブルを使用される場合は、USB 1.1以上の認定品をご使用ください。USBケーブルの最大電流は470mAです。

USBモードを切り替える（USBモード）

機能番号72

本機をパソコンと接続したときに使用するUSBモードを切り替えます。

お買い上げ時：
「モデム&ユーティリティ」

待受画面で 72 22

以下の項目から選択します。




13 モデム	本機を、CDC(Communication Device Class)に準拠したUSBモデムとして使用したいときに選択します。CDCに準拠したUSBモデムでは、Macintoshでデータ通信が利用できます。*
22 モデム&ユーティリティ	本機をモデムとして使用したり、付属CD-ROM内のWindows用のユーティリティを使用したいときに選択します（AH-K3001V/AH-K3002V/WX300K/WX310K/WX320Kと互換）。

*：Windowsがプリインストールされているパソコン（Windows Vista/XP/2000/ME/98SEがプリインストールされているパソコン）、Mac OS Xがプリインストールされているパソコンの場合、USBケーブルで接続するとモデム情報のインストールを求められます。モデム情報は付属のCD-ROMからインストールしてください。

● 発信する

待受画面で 本機とUSBケーブルで接続したパソコンなどで、データ通信の発信操作を行う

- ・ 本機のディスプレイに通信方式の種別がアイコン文字で表示されます。
表示されるアイコンは以下のとおりです。


	バケット方式
	フレックスチェンジ方式
	32kPIAFS
	64kPIAFS (ベストエフォート型)
	64kPIAFS (ギャランティ型)

- ・ アクセスポイントに接続すると、本機のディスプレイに通信時間が表示されます。データ通信を終了するには、パソコンからデータ通信を切断します。

● ご注意

- 以下の状態でのご利用は通信切断の原因となりますので、ご注意ください。
 - ・ 電波状態が悪い場所でのご利用
 - ・ 移動しながらかのご利用
- 「閉めるとロック」が設定されているときは、データ通信を利用することはできません（「本体を閉じてダイヤルロックをかける」120ページ）。

● お知らせ



- を押しても、データ通信を切断することができます。
- 確実にデータ通信を行うため、データ通信を始める前に本機のバッテリー残量が十分であることを確認してください。
- 分計発信をするときは、電話番号の最後に「01」を入力します（「料金分計サービスについて」154ページ）。
例：「03-△△△△△△△△△△#4,01」
なお、データ通信での分計発信は、PIAFSのみ対応となります。
- データ通信をしたときの電話番号は、発信履歴には記録されません。
- データ通信中に本体を閉じてもデータ通信は切断されません。
- 通信設定やデータ通信の発信操作は、使用する通信ソフトにより異なります。詳しくは、通信ソフトの取扱説明書をご参照ください。
- データ通信の通信速度は、接続する機器や通信状況によって変わることがあります。
- 通信速度が遅いと感じるとき
 - ・ 電波や回線の状態が悪いことがあります。
 - ・ パソコンの通信設定が遅い場合があります。パソコンの設定を確認してください。
 - ・ メインディスプレイに「バケット」、「32kPIAFS」、「64kPIAFS BE」、「64kPIAFS GR」と表示されていても、相手のデータ通信速度が遅い場合、実際の通信速度は遅くなります。

● 着信する


データ通信中に パソコンで着信の操作を行う

- ・ 本機のディスプレイに「データ着信」と表示されます。
データ通信を終了するときは、パソコンからデータ通信を切断します。


● ご注意

- を押す、またはUSBケーブルを接続しパソコンで着信の操作を行うまで、着信音は鳴り続けます。を押して応答することはできません。

● お知らせ

- を押しても、データ通信を切断することができます。
- アドレス帳に登録されている電話番号から着信があったときは、登録名と着信番号が表示されます。ただし、以下の場合は、アドレス帳に登録されている電話番号から着信があった場合でも、登録名は表示されず、着信番号のみが表示されます。
 - ・ アドレス帳制限が「ON」に設定されているとき（「使用制限を設定／解除する」122ページ）
 - ・ 着信した電話番号がシークレット登録されているとき（「シークレットモードを設定する」123ページ）
- 電話をかけてきた相手が発信者番号を非通知にしているときや、公衆電話からの発信のときなどは、以下のように表示されます。

表示内容	非通知理由
ユーザ非通知	相手が番号通知を拒否している
通知不可能	番号通知ができないエリアや電話機からかけている
公衆電話	公衆電話からかけている

- データ通信の着信はデータ通信の発信とは異なり、「閉めるとロック」が設定されていても、着信することができます。
- USBケーブルなどの接続ができていない状態でデータ通信を着信したときは、着信中にデータ通信の接続を完了すると、通常どおり受信することができます。を押すと着信を拒否することができます。
- データ通信を着信したときの電話番号は、着信履歴に記憶されます。